

人生の幻影 (1984)

MIRAGE DE LA VIE

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 スイス

色彩 Color

時間 53分

初公開日 1986/07/03

公開情報 アテネ・フランセ

【解説】

シュミットがD・サークを盲愛するのは、彼の弁明を待つまでもなく、その作品を見れば瞭然とする。シャンパンがグラスに注がれ、その泡が静まるまでに、苦い恋を回想するーなんて「ヘカテ」の語り口はまさにサークの。彼が、余生をスイスに送るオーストリア出身のハリウッドの名匠を訪ね、そのメロドラマの幻惑の術を、波乱に富んだ人生を語らせる。一般にドキュメンタリーと呼ぶべき内容だが、その対象への同一化の度合いにおいて、一編の長篇劇映画を超える充実を持った作品である。サーク自身のハッピー・エンドの定義は、“真のハッピー・エンドとは……死を直視して現在を生きること”。表題は「悲しみは空の彼方に」“Imitation of Life”の仏語題からとられている。

【クレジット】

監督 ダニエル・シュミット Daniel Schmid

撮影 レナート・ベルタ Renato Berta

出演 ダグラス・サーク Douglas Sirk